

授業科目	言語発達障害Ⅰ（援助法・基礎）				
担当者	岡崎満希子・中村靖子				（オムニバス）
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

対人援助職として仕事を進めていく上で必要な観察の視点・方法とそれらを言語化・文字化してまとめ、実習日誌や報告書やカルテ等を通して伝えることを学ぶ。第1回～第10回まで（岡崎）は、観察と記録の初歩的な事項と、主に小児領域のVTR等を活用した講義と演習を実施する。第11回～第15回まで（中村）は、成人領域のVTR等を活用した講義と演習を実施する。

## ■ 到達目標

臨床実習Ⅰの日誌作成を念頭に、基本的な行動観察や記述の視点・方法を習得する。

## ■ 授業計画

- 第1回 行動観察の理論と技法（岡崎）
- 第2回 小児領域における観察の視点1（岡崎）
- 第3回 小児領域における観察の視点2（岡崎）
- 第4回 小児の観察と記録 演習1（岡崎）
- 第5回 小児の観察と記録 演習1（岡崎）
- 第6回 小児の観察と記録 演習2（岡崎）
- 第7回 小児の観察と記録 演習2（岡崎）
- 第8回 小児の観察と記録 演習3（岡崎）
- 第9回 小児の観察と記録 演習3（岡崎）
- 第10回 小児の観察と記録 まとめ（岡崎）
- 第11回 成人の観察と記録 概要及び視点について（中村）
- 第12回 成人の観察と記録 失語症患者様VTR グループワーク 着眼点を共有する（中村）
- 第13回 成人の観察と記録 第12回の解説 失語症患者様VTR 個人ワーク（中村）
- 第14回 成人の観察と記録 第13回の解説 嚥下障害の患者様VTR グループワーク（中村）
- 第15回 成人の観察と記録 第14回の解説及び成人領域の復習（中村）

## ■ 評価方法

提出物100%

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

演習が多い講義内容となっています。講義内にて適宜、各自で取り組んでもらう課題を出す予定です。

## ■ 教科書

書 名：言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編  
 著者名：深浦順一、為数哲司、内山量史  
 出版社：建帛社

書 名：言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編  
 著者名：深浦順一、内山千鶴子  
 出版社：建帛社

■ 参考図書

--

■ 留意事項

--

■ 講義受講にあたって

臨床実習の基盤となる観察の視点を学びます。しっかり取り組んでください。